
鉾山研究会

ニューズレター No.9 3

2013年10月16日

- 1 定例鉾山研究会のお知らせ
- 2 第36回鉾山の映像を観る会のご案内 丸山もとこ
- 3 海外鉾山文献読書会のご案内 丸山もとこ
- 4 事務局から

資料紹介

新会員の紹介

研究会報告の募集と会誌の原稿募集

鉾山研究会 連絡先

会長 村串仁三郎

〒270-0127 流山市富士見台2-5-16-13-401

電話・ファックス 0471-52-8952

事務所 国学院大学、若木タワー第913号、菅井益郎研究室

〒150-0011 渋谷区東4-10-28

1 定例鉾山研究会のお知らせ

日時 2013年11月9日、午後2時—5時

場所 法政大学市ヶ谷キャンパス80年館7階丸会議室

報告

- 1 菅井益郎「田中正造歿100周年に際して〈足尾一東電福島第一電発事故考える〉」

参考文献

菅井「足尾・柏崎・福島（反原発運動と反公害運動のかさなりから）」（『現代思想』2011年10月）。菅井「日本近代化の問題点を露わにした東電福島第一原発震災」（社会政策学会『社会政策』第4巻第3号・ミネルヴァ書房・2013年3月）。菅井「原発事故調査報告が取り扱わなかったことなど」（エントロピー学会『えんとろぴい』第74号、2012年4月）。

2 佐藤一男「会津の鉱山と友子」

参考文献

佐藤『会津若松市の鉱山』（2013年5月、塩川史振興会）。

2 第36回鉱山の映像を観る会のご案内

前回に引き続き、足尾と田中正造を特集します。前半は古河社で新たに発見された16ミリフィルムを小野崎さんに紹介していただきます。休憩を挟んで後半には、足尾銅山鉱毒事件の当時の状況を記録したドキュメンタリー映画「足尾74夏」を上映いたします。皆様の参加をお待ちしております。

【日時】2013年10月19日(土) 開場 13:00 上映開始 13:30 解散 17:00

【会場】國學院大學渋谷キャンパス若木タワー5階 509 演習室（渋谷区東4-10-28）

アクセスマップ

http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/access_shibuya.html

キャンパスマップ

http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/campus_shibuya.html

【会費】 無料

【上映スケジュール】

13:30-14:30 足尾特集1

・古河社で発見された16ミリフィルムを中心に（担当小野崎さん）

14:30-15:00 休憩

休憩中も関連映像を流します

15:00-16:40 足尾特集2

山口豊寧監督「足尾74夏」

※解散後、懇親会を予定しておりますのでお時間のある方はご参加ください。

※ご意見ご要望のある方は、〈jmrs.eizonokai@gmail.com〉までご連絡ください。※映像の会からのお知らせがご不要な方は、お手数ですがその旨ご連絡ください。

丸山雅子（まるやまもとこ）

鉱山研究会 映像の会担当

E-mail jmrs.eizonokai@gmail.com

<http://www.jmrs.sakura.ne.jp/visual/>

3 海外鉱山文献読書会のご案内 丸山もとこ

近年、国際会議に出席したり、海外の鉱山を見学する機会が増えています。そこで、英語で著された鉱山文献を読み解く勉強会を月一回のペースで行っています。文献を通して海外の鉱山史と鉱山事情を学ぶほか、英語の専門用語に慣れることを目的としています。この勉強は海外で活動するうえで欠かせません。英語が苦手という方こそ、奮ってご参加ください。

【テキスト】 *Gold*. ロンドン自然史博物館刊行, 1999 年.

【次回】 2013 年 11 月 6 日（水）14:30～16:30

【会場】 JR 田町駅周辺（参加希望者にご連絡ください）

【会費】 なし ただしテキストは自分で用意してください

【ウェブサイト】 <http://www.jmrs.sakura.ne.jp/reading/>

【連絡先】 jmrs.dokushokai@gmail.com

【注意事項】 参加希望者は必ず事前にご連絡ください

日程は直前に変更されることがあります。ウェブサイトでご確認ください

4 事務局から

資料紹介

友田義行「日本の炭鉱映画史と三池－「三池 終わらない探鉱の物語」への応答－」立命館言語文化研究 22 巻 2 号。

熊谷博子監督の同名の長編ドキュメンタリー映画を入り口にして、これ

まで炭鉱をどう描き、捉え／損ない、新しい生命を吹き込んできたかを「炭鉱映画」から考察している。まず、海外を含めて炭鉱映画を概観し、劇映画の炭鉱表徴－地底から空－、中小炭鉱からの声を分析している。

巻末の「炭鉱映画史略年表・作品リスト」は、1925年チャップリンの「黄金狂時代」から炭鉱会社のPR映画、2010年の平山秀幸「炭坑町のセレナーデ」まで詳細に採録している。

なお、2013年8月3日から9日までポレポレ東中野で上映された「映像の中の炭鉱」の解説パンフレット、正木基「映像の中の炭鉱」も参考になる。
川俣修壽

新会員の紹介

青井祐一氏（長野県須坂市在住）

「私は昭和22年秋田鉱山専門学校採鉱課を卒業し、以来60歳で定年するまで、北海道・東北の山を中心に、鉱山技師として生きてきました。現在88歳です。

鉱山から離れた今でも、時折昔のことを思い出し、記録をしています。今回釧路市博物館の石川学芸員のお勧めで、娘に手伝ってもらいながら、当時の写真を中心に記録の整理を始めました。私の持っている資料が、鉱山研究の役に立てば嬉しいと思っています。石川さんに、貴研究会のご紹介も頂き、全国の鉱山の情報を楽しく読ませていただいています。

よろしくお願いいたします。」

（青井さんと連絡を取りたい方があれば、村串宛にご一報下さい、青井さんの住所をお教えします。村串）

会誌の原稿募集

会誌『鉱山研究』91号の原稿を募集します。

締切りは、本年12月10日。メール又は原稿を村串までお送り下さい（12月中旬から翌1月中編者不在の為）。

なお、投稿者が固定的になっていますので、ぜひこれまで投稿の少なかった方々、これまで投稿していなかった方々の寄稿を期待します。内容、論稿の形式は問いません。